

資格認定委員会より

1. 認定委員会について

平成27年12月5日に平成27年度第5回認定委員会が開催され、668名について審査を行い、645名を合格としました。今年度の12月31日までの認定心理士数を集計したところ初回審査者数は2,992名、総審査者数は3,052名、認定可の数は2,891名、取得者数は2,437名となりました。平成28年2月の認定委員会の審査予定の申請数は現在422名となっています。このままで推移すれば、今年度の取得者数は3,000名を超えると期待されます。これまでの数年間の審査数と取得者数を調べてみますと、2011年度はそれぞれ3,364名、3,138名、2012年度は3,776名、3,689名、2013年度は3,232名、3,035名、2014年度は3,141名、3,002名となっていました。2012年度をピークに、年々減少傾向にありましたが、今年度は前年度より若干増加すると見込まれます。

2. 認定心理士（心理調査）について

新しい資格として心理調査士を立ち上げようと準備してきましたが、内閣府の指導もあり、認

定心理士の事業の一環として認められることになりました。それを受け、名称を認定心理士（心理調査）とし、認定事業に含まれる資格と位置付けられました。認定心理士（心理調査）となった経緯から、心理調査士としてワーキング・グループで検討されてきたカリキュラム案が若干変更されることになりました。

認定心理士（心理調査）では、認定心理士の要件を満たすうえで、心理調査に必要な科目を取得する必要があります。それらの科目は（1）心理調査概論・心理調査法（2単位以上）、（2）心理統計学（2単位以上）、（3）発展/展開研究（実習）（6単位以上）となります。特に（3）では自ら計画し、データの採取、処理、解析を行い、報告を行うことが求められます。したがって認定心理士（心理調査）は、自ら研究の計画立案、実行、報告の出来る人を認定する制度となります。

今後のスケジュールは、平成28年3月22日に認定心理士（心理調査）の全体説明会を開催し、大学関係者に一括申請の説明を行います。4月1日より大学からのカリキュラム審査を開始します。6月1日より大学のカリキュラム申請

を電子申請可能に整備する予定です。カリキュラムが認められた大学の卒業生に対し、申請を受け付け、平成29年4月に認可1号が出る予定となります。

なお大学一括申請の場合、大学が大学申請料を収めることで、個人の審査料を5,000円割引する制度を設けました。

3. 「認定心理士の会」について

本誌72号で報告した認定心理士25周年記念式典の席上、佐藤隆夫常務理事より「認定心理士の会」の立ち上げについて説明がありました。これを受けワーキング・グループが立ち上げられ、設立準備委員会として運営について検討が加えられました。平成28年1月10日に2回目の会合がもたれ、会則について検討されました。この会則案が、平成28年1月24日に開催された常務理事会で承認されました。ワーキング・グループのメンバーが幹事と承認されたことから、正式に「認定心理士の会」の役員会を開催できることになり、活動を具体化できることになりました。

（日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 横田正夫）

編集後記

脳科学と心理学というテーマは規模が大きいので1回の特集にまとめるのに苦戦しました。編集委員会でもさまざまな議論があり、何度も仕切り直しが必要でした。特集ではこれまでになかった企画を組むのがルールですが、このテーマは今後シリーズ的に特集を出していても良いというのが編集委員会の結論で、今回は幸福な関係を求めてという形で、皮切りをすることができました。編集委員と著者の皆様に改めて感謝します。（小田浩一）

編集委員（五十音順）

編集委員長	川口 潤	名古屋大学
副委員長	大久保街 亜	専修大学
委員	岩壁 茂	お茶の水女子大学
	漆原 宏次	北海道医療大学
	柏崎 秀子	実践女子大学
	河原純一郎	北海道大学
	小森 政嗣	大阪電気通信大学
	下津 咲絵	京都女子大学
	旦 直子	帝京科学大学
	手塚 洋介	大阪体育大学
	樋口 匡貴	上智大学
	脇田 真清	京大大学霊長類研究所
担当常務理事	宮谷 真人	広島大学

心理学ワールド [73号] 2016年4月15日発行 年4回発行（1月、4月、7月、10月）

発行人—長谷川 壽一  
編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953  
表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—新日本印刷  
制作—(株)新曜社